



第 8 戦 (最 終 戦) MOTEGI GT 300km Race G R A N D F I N A L モビリティリゾートもてぎ

予 選 **11月1日(土)**

天候: 晴れ コース状況: ドライ

SUPER GTシリーズ第8戦(最終戦)は、木々が秋色になったモビリティリゾートもてぎにおいて300kmレースとして開催。このレースではサクセスウェイトがなくなりガチンコの勝負となる。前日午後から降り始めた雨は夜には大雨となったが、予選日は早朝から晴天となった。コースは完全ドライではなかったが、サポートレースのFIA-F4の予選が行われるうちにほぼドライコンディションとなった。

予選 : 13位



やや雲がかかり気温17℃、路面温度21℃の9時10分に公式練習がスタートした。このセッションでは堤がセッティングとタイヤと路面の確認をし平良に交代。トップタイムとは1.325秒差の11位となったが、2位の車両とは0.406秒差であった。

公式予選は気温22℃、路面温度24℃の14時にスタートした。今回はA組に区分され平良がコースイン。14台のうちトップ9に入ればQ2へ進出となる。セッション終盤、計測ラップ4周目で平良は1分47秒182をマークして3位につけた。その後、平良のタイムを上回る車両が3台あり順位は6位まで下げたが、無事Q2への進出を果たした。

Q1を突破した18台で上位グリッドを争うQ2は、やや日差しが傾いた14時53分から10分間行われた。堤がコースインして計測3周でタイヤを暖めアタックに入り4周目に1分46秒800。さらにアタックを続けたが第5コーナーでパワステのトラブルのためにバランスを崩しアタックをやめてセッションは終了。結果は13位で決勝のグリッドが確定した。

今シーズンのラストレース300kmの決勝は13時にスタート予定。





ドライバー 堤 優威

「朝の公式練習から先日行われたテストの時のような感触がなかったのですが、チームはセッティングを合わせ込んでくれました。しかし0.2～3秒足りないという感じでした。うまくアタックできても5～7位ぐらいだったと思います。アタック2周目、5コーナーの出口でハンドルが固まってしまいクルマが左を向いてしまったので、それでアタックをやめてしまいました。明日はひとつでも上の順でゴールできるよう頑張ります」

ドライバー 平良 響

「今年はBoPもキツくなりタイヤ径も小さくなり、これが僕たちの精一杯かなと思います。いまひとつだった公式練習から大幅にセッティングを変えたことがすごくうまくいき、自分的にはいい走りことができました。それはエンジニアの(渡邊)信太郎さんを中心にいろいろ考えてくれた結果だと思っています。明日の決勝は中段からのスタートになりますし、周りはGT3車両ばかりで、もてぎはストップ＆ゴーのコースですからいつも以上にきついと思いますが、頑張っって追い上げます」



監督 加藤 寛規

「予選結果は13位と、自分たちが思っていたよりもペースがありませんでした。苦しいスタート位置なのですが、明日の決勝は今日とはまたコンディションも異なるでしょうし、何ができるのかチームでしっかり考え、今シーズンのベストなレースができるように頑張りたいと思います。応援をよろしくお願いします」



HYPER WATER RACING

GR

BRIDGESTONE

TGR-DC

TGR-D

ADVICS

PMU

金星工業

muta

トヨタモータース

山田モータース

ELI HOMES

MOTUL

MS COLLECTION

SANKISBOKU

TONE

pepsi

NAKAMURA KOSHA

Kate

ODURA

OHLINE

TMS

ORL

AMS MEGA LIFE

VIEWTEC